

平成30年4月

会員各位

NPO法人常磐炭田史研究会
会長 野木和夫

総会及び研究会開催の件

桜花爛漫もあつという間の夢まぼろし、季節は移ろい「目には青葉 山ホトトギス初鯉」、＜常磐もの＞生姜醤油での鯉の刺身がうれしい常磐炭田ですが、会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと思います。

早速ですが、風香るホームグラウンド「ほるる」で平成30年度総会・研究発表会を下記の通り開催いたします。研究発表会では内郷生まれあの「山代吉宗」について東京から特別講師を招聘して開催予定でこちらも楽しみです。ご多忙の折でしょうが万障繰り合わせの上ご出席下さい。

尚、湯本温泉スマレ館での懇親会も予定しております。評判の温泉にもつかれますので、こちらにも是非ご参加下さい。どうぞよろしく申し上げます。

記

1. 日 時 平成30年5月19日（土）13時より受付開始
総会 13時30分より14時50分まで
研究会 15時00分より17時00分まで

2. 場 所 いわき市石炭・化石館（愛称ほるる） 講堂

3. 審議事項

- 議案（1）平成29年度活動報告
- 議案（2）平成29年度収支決算並びに監査報告
- 議案（3）平成30年度活動計画（案）
- 議案（4）平成30年度収支予算（案）
- 議案（5）役員改選

4. 研究発表会

- 第一部（仮題）山代吉宗と山代 巴について 講師 牧原暁子氏
*講演に先立ち小野浩会員から今回のいきさつについて紹介
第二部 「全炭博研 i n 宇部炭田」に参加して 講師 馬目太一
*副題 いわき市と宇部市の結びつきについて

尚、テーマや講師については都合により変更する場合があります。

5. 懇親会

場所 湯本温泉スマレ館 時間 18時～20時 会費 3,000円

尚、お手数ですが同封ハガキで出欠の有無、及び欠席の場合は委任状に署名捺印のうえ、5月12日（土）まで届くようご投函下さい。

以上

■この件に関する連絡先 事務局長 馬目太一 まのめたいち 0246（26）3714

やましろうよしむね
○山代 吉宗 プロフィール はんばがしら
飯場頭の子として

彼の父親山代広次郎は、現在の島根県大田市大森町、徳川時代には幕府直轄の大森銀山のあったところで生まれている。戸籍を見ると広次郎は明治9年に生まれ、15年には父を失っている。そこから彼は、7歳の幼少で生野銀山の鉾山組頭のもとへあずけられることになり、生野銀山を振出しに、筑豊、足尾、夕張と鉾山を渡り歩いて、明治28年、福島県石城郡内郷町宮にあった町田炭鉾の飯場頭、岡本実治郎のもとに鞋（わらじ）を脱ぎ、彼の養子という名目で飯場を与えられている。吉宗の実母クニからの聞き書きによると、クニは平藩の下級士族松永善左衛門の子で18歳のとき、24歳の広次郎と結婚したことになる。

「すでに町田坑で実力を誇っていた広次郎との婚礼は、きわめて豪勢なものであった。平町じゅうの芸者を総あげし、かん徳利50、盃100を買い入れ、会社役員、友子、身内と三部に分け、三日三晩のにぎやかな祝儀をつづけた。芝居の一座を買い切って町田坑によび、人々に見せることもした。」

ここには少々のはらもあるだろうが、無学文盲、少年期から坑内で働いてきた24歳の青年としては、驚くような華やかな祝儀で、当時の飯場の暴利が窺える。

吉宗は明治34年7月7日、広次郎とクニの長男として町田で生まれている。36年2月妹マチ子が生まれて100日たたない4月、町田炭鉾の坑道が附近の川の川底にふれ、坑内が水びたしになり廃坑になったので、広次郎は磐城採炭株式会社の小野田坑に飯場を移し、吉宗を養父岡本実治郎のもとに残した。吉宗はこの時から10歳まで実治郎を真の親と思い込んで成長した。この7年間の間に、小野田に移った父母の間には、彼の知らない悲劇が起こっていた。……

(増補 やましろう ともえ 山代 巴 獄中手記書簡集』 まきはらのりお 牧原 憲夫 編 より抜粋)

⇒⇒⇒その後吉宗が辿った道は？ 獄中から妻巴との手紙のやりとりは……？

まきはらあきこ
○講師 牧原 暁子 氏

上記著者牧原憲夫氏（故人）夫人。1946（昭和21）年東京生まれ。大学卒業後、1970（昭和45）年から＜新日本文学会・朝鮮語入門講座＞＜朝鮮文学会＞＜現代語学塾＞などで朝鮮語を学び、韓国の小説を読む。1989（平成1）—92（平成4）年現代語学塾臨時講師、2002（平成14）—05（平成17）年、韓国留学。